



平成26年2月10日

各 位

上場会社名 株式会社 ウィザス
 代表者 代表取締役社長 生駒 富男
 (コード番号9696)
 問合せ先責任者 常務取締役 井尻 芳晃
 (TEL 06-6264-4202)

平成26年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月10日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,677	百万円 804	百万円 820	百万円 168	円 銭 16.71
今回修正予想(B)	14,408	204	211	157	15.69
増減額(B-A)	1,269	600	609	325	
増減率(%)	8.1	74.6	74.3	-	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	15,635	278	241	76	7.64

修正の理由

第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ通期連結業績予想について上表の通り修正をいたします。

学習塾事業において集団指導コースは厳しい局面が継続しておりますが、個別指導コースの生徒数が増加し、対前年比で4月末時点の92.3%から12月末時点の95.2%と回復の兆しが出ております。また、当社では成績向上と顧客満足度の向上に注力しており、12月には教育情報サイト「リセマム」の実施する顧客満足度調査で決定する「イード・アワード2013塾」において総合満足度関西第1位(最優秀賞)を受賞しました。

高校・キャリア支援事業において、高校の生徒数は対前年比で100.3%(12月末時点)と増加傾向にありますが、キャリア支援における高卒認定通学コースの廃止に伴い、当事業全体の12月末生徒数が対前年比で7,158名(対前年比89.5%)と相当に減少をしております。

これらの結果、売上高につきましては第4四半期においても当初予想を下回る予測としており、前回発表予想と比べまして1,269百万円減少し14,408百万円の見込みであります。経費面におきましては、人員配置の見直しと人事制度の改訂による人件費の削減、生徒数の変動や時間割の見直しに伴う適正校舎面積への移行による賃料削減、新聞媒体による広告から主要ポータルへの広告展開や教育イベントによる集客への移行による広告宣伝費節減等に取り組みました。これらのコスト削減は引き続き継続してまいります。営業利益は前回発表予想と比べまして600百万円減少し204百万円、経常利益は609百万円減少し211百万円、当期純利益は固定資産減損等による特別損失計上により325百万円減少し、当期純損失157百万円の見込みであります。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 役員報酬の減額について

当社は、平成26年3月期通期連結業績予想の修正を真摯に受け止め、今後の業績向上を期すべく、代表取締役会長および代表取締役社長、その他の取締役の役員報酬を以下のとおり減額いたします。平成25年4月より役員報酬を減額いたしておりましたが、1月以降も減額を継続いたします。

(1) 役員報酬の減額の内容

対象者	報酬減額の内容
代表取締役会長および代表取締役社長	役員報酬月額20%を減額
その他の取締役	役員報酬月額10%を減額

(2) 対象期間

平成25年4月から平成26年3月まで

以上